

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2028年4月26日まで（2018年4月27日設定）
運用方針	主としてわが国の株式に投資を行います。株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます。）への投資を基本とします。株式への投資にあたっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄に投資します。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</div>

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### IPOリサーチ・オープン

愛称：リターン・エース

第1期（決算日：2019年4月26日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「IPOリサーチ・オープン」は、去る4月26日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

### 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
(設定日)	円								百万円
2018年4月27日	10,000		—		—		—		7,144
1期(2019年4月26日)	10,462		0		4.6	96.8	—		8,145

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落				
(設定日)	円						
2018年4月27日	10,000			—		—	—
5月末	10,787			7.9		93.6	—
6月末	10,737			7.4		94.7	—
7月末	10,534			5.3		95.3	—
8月末	10,613			6.1		97.1	—
9月末	11,131			11.3		95.5	—
10月末	9,480			△ 5.2		95.3	—
11月末	10,226			2.3		95.7	—
12月末	8,594			△ 14.1		95.7	—
2019年1月末	9,264			△ 7.4		95.8	—
2月末	9,901			△ 1.0		95.9	—
3月末	10,230			2.3		96.5	—
(期末)							
2019年4月26日	10,462			4.6		96.8	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第1期：2018年4月27日～2019年4月26日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第1期末	10,462円
既払分配金	0円
騰落率	4.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は設定時に比べ4.6%の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

組み入れを行った個別銘柄（チームスピリットやビジョンなど）の株価の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

組み入れを行った一部の個別銘柄（HameeやRS Technologiesなど）の一時的な株価下落が基準価額の一時的な下落要因となりました。

第1期：2018年4月27日～2019年4月26日

## 投資環境について

### 国内株式市況

設定時から2018年12月下旬にかけては米国金利の上昇や、米国が保護主義的な経済政策を前面に打ち出してきたこと、米中間の貿易摩擦の激化に伴い世界経済や企業業績の先行きに対して投資家の懸念が強まったことなどを背景に下落しました。

12月下旬から期末にかけては、パウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長が金融引き締めを急がない姿勢を示し利上げ観測が後退したことや、中国政府による景気対策への期待および米中間における貿易交渉の解決に向けた進展期待などが広がったことなどを受け、上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドでは株式公開（I P O）後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄を中心に選別投資を行いました。

組入銘柄数は概ね70～85銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較などを勘案し、適宜銘柄の入れ替えを行いました。設定時に75銘柄程度を速やかに組み入れた後、2018年5月に上場した印刷・集客支援のシェアリングプラットフォームを中心とした印刷事業などを展開する「ラクスル」や、商材・商戦の立て直しによる業績回復が見込まれると期待した「T O K Y O B A S E」などを新規に組み入れる一方、航空機、船舶などのオペレーティング・リース事業を主力とするも、リース取引の資産計上変更に伴う業績悪化が懸念された「ジャパンインベストメントアドバイザー」などを全株売却するなど銘柄の入れ替えを行いました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2018年4月27日～2019年4月26日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	462

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 今後の運用方針

引き続き、株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます。）への投資を基本とします。投資銘柄の選定に当たっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、経営陣への取材や継続的な調査等を通じて、経営戦略の実現性や事業環境等を分析します。さらに、株価水準や流動性等を考慮し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。

2018年4月27日～2019年4月26日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	178	1.769	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(87)	(0.863)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(87)	(0.863)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(4)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.193	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(19)	(0.193)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	197	1.965	

期中の平均基準価額は、10,060円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

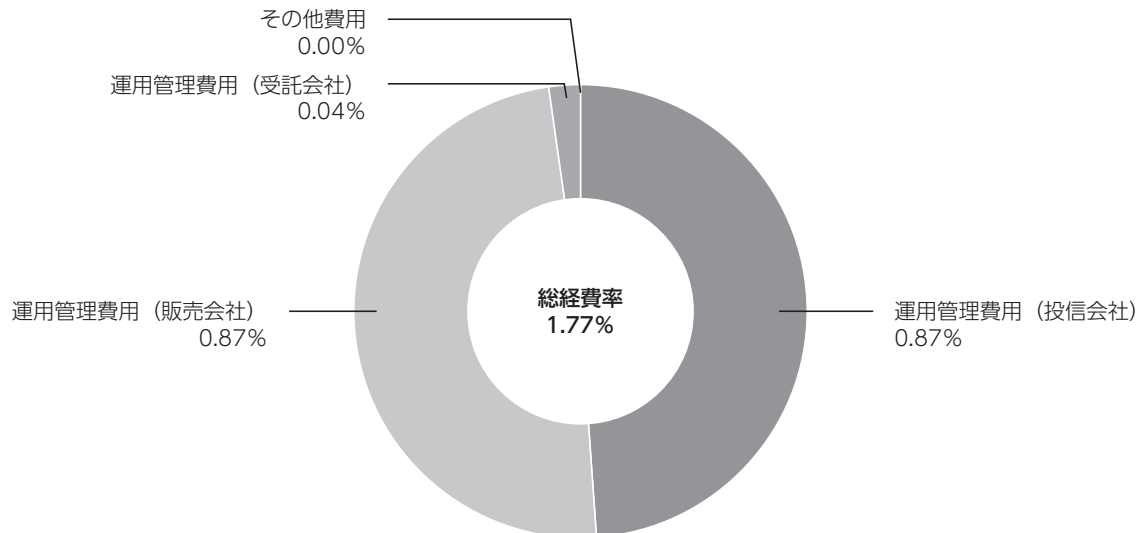
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.77%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2018年4月27日～2019年4月26日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		6,695 ( 788)	18,267,743 ( -)	4,350 ( 0.6)	10,511,037 ( 2,760)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2018年4月27日～2019年4月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	28,778,780千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,644,930千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.70

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年4月27日～2019年4月26日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 5,846	% 32.0		百万円 2,294	% 21.8	

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 156

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	22,225千円
うち利害関係人への支払額 (B)	6,301千円
(B) / (A)	28.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年4月26日現在)

## 国内株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
<b>建設業 (0.8%)</b>		
フィル・カンパニー	15.9	61,056
<b>化学 (1.8%)</b>		
KHネオケム	32.5	104,812
竹本容器	27.7	38,780
<b>医薬品 (7.3%)</b>		
ベプチドリーム	34.9	209,051
ヘリオス	81.3	151,380
ミスホメディー	76.2	212,293
<b>機械 (4.8%)</b>		
自律制御システム研究所	18.5	66,970
オプトラン	7	20,419
イワキポンプ	67	64,454
ブリュー	86.1	86,444
ツバキ・ナカシマ	69.4	142,964
<b>電気機器 (1.6%)</b>		
トレックス・セミコンダクター	17.8	23,175
マクセルホールディングス	59.3	100,276
<b>精密機器 (0.8%)</b>		
メニコン	19.4	62,080
<b>電気・ガス業 (0.6%)</b>		
レノバ	52.5	50,505
<b>陸運業 (5.2%)</b>		
丸和運輸機関	48.2	188,703
九州旅客鉄道	39.5	142,990
S Gホールディングス	25.4	75,565
<b>情報・通信業 (27.7%)</b>		
メディアドゥホールディングス	55.7	165,150
マークライنز	52.3	82,320
P R T I M E S	70.1	164,735
ラクス	46	89,056
オープンドア	72.5	231,637
L I N E	21.2	79,182
カナミックネットワーク	41.3	79,956

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
ユーザベース	45.5	137,410
オロ	5.8	39,672
PKSHA Technology	6.8	42,636
マネーフォワード	34.1	154,984
サインポスト	11.6	36,134
ラクスル	49	217,070
メルカリ	31.9	109,576
チームスピリット	46.9	281,400
Welby	0.3	4,779
トビラシステムズ	1.5	8,400
ビジョン	50.8	259,080
<b>卸売業 (3.3%)</b>		
ラクト・ジャパン	52	240,240
西本Wismettacホールディングス	4.2	16,842
<b>小売業 (7.1%)</b>		
ネクステージ	118.3	140,777
TOKYO BASE	92.4	98,128
リネットジャパングループ	50.4	63,756
スシローグローバルホールディングス	30.6	222,462
シルバーライフ	7.8	31,005
<b>保険業 (0.9%)</b>		
かんぽ生命保険	33.2	74,534
<b>その他金融業 (2.7%)</b>		
アルヒ	56.4	111,784
プレミアムグループ	52.8	101,323
<b>不動産業 (6.2%)</b>		
オープンハウス	27.5	111,787
ティーケービー	43.9	223,890
カチタス	42.6	156,129
<b>サービス業 (29.2%)</b>		
弁護士ドットコム	33.1	142,826
テクノプロ・ホールディングス	24.5	162,925
アドバンチャー	6	27,150
Keeper技研	15.1	20,460

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
三機サービス	17.4	21,750
Gunosy	46.4	76,884
イトクロ	20	47,760
シンメンテホールディングス	66.3	147,451
リクルートホールディングス	61.3	204,067
ベルシステム24ホールディングス	87.8	142,499
鎌倉新書	40.8	59,078
アトラエ	21.4	72,546
ソラスト	116	128,528
インソース	33.8	78,551
ペイカレント・コンサルティング	41.7	167,634

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
MS-Japan	71.3	122,065
ソウルアウト	20.8	82,576
MS&Consulting	72.1	75,056
ウェルビー	86.4	164,419
日総工産	174.2	221,059
キュービーネットホールディングス	31.9	82,812
RPAホールディングス	10.3	56,238
合 計	株数・金額 3,132	7,882,098
	銘柄数<比率> 71	<96.8%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年4月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	7,882,098	94.3
コール・ローン等、その他	477,071	5.7
投資信託財産総額	8,359,169	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,359,169,430
コール・ローン等	410,157,374
株式(評価額)	7,882,098,700
未収入金	35,736,921
未収配当金	31,176,435
(B) 負債	213,545,007
未払金	26,763,076
未払解約金	104,701,429
未払信託報酬	81,949,855
未払利息	786
その他未払費用	129,861
(C) 純資産総額(A-B)	8,145,624,423
元本	7,785,888,961
次期繰越損益金	359,735,462
(D) 受益権総口数	7,785,888,961口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,462円

## &lt;注記事項&gt;

- ①設定元本額 7,144,131,165円  
 期中追加設定元本額 10,737,619,967円  
 期中一部解約元本額 10,095,862,171円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0462円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2018年4月27日～ 2019年4月26日
費用控除後の配当等収益額	38,850,646円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	125,309,493円
収益調整金額	195,576,363円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	359,736,502円
1万口当たり収益分配対象額	462円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況 (2018年4月27日～2019年4月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	87,062,451
受取配当金	87,632,913
受取利息	1,034
その他収益金	7,442
支払利息	△ 578,938
(B) 有価証券売買損益	280,780,851
売買益	2,281,797,194
売買損	△2,001,016,343
(C) 信託報酬等	△ 203,683,163
(D) 当期損益金(A+B+C)	164,160,139
(E) 追加信託差損益金	195,575,323
(配当等相当額)	(△ 1,040)
(売買損益相当額)	( 195,576,363)
(F) 計(D+E)	359,735,462
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	359,735,462
追加信託差損益金	195,575,323
(配当等相当額)	(△ 1,040)
(売買損益相当額)	( 195,576,363)
分配準備積立金	164,160,139

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。